

小童和歌と従来傳

100-150000

遠州佐和郡山口庄伊達村  
石姓石川惣吉は伊達家  
之三幸吉手出生石川年十六  
とて詠歌

寛政八丙辰年九りの此掛川  
連ら河温純石金八方親和吉  
同及し来り石川中の石川  
りぬ印傳也

石川石川石川石川石川石川  
たき石川石川石川石川石川

詠歌一は是は詠人評判して  
六甲年の詠歌ありとて麻子あり  
書記一とて河和ひらり  
伊達家  
を口伝して石川傳也  
石川城内とあり石川出山其時代  
古田外石川石川石川石川石川





新川城内とあるよお出の昔時代  
左田外記河を十重のそ外家老中  
同席よそ所乳のうへ口冬の歌を  
出しはるはつる年の暮子即席ふ

雲おね月

山塔の梢おふふよたぐ雲の  
影よまつり冬の花の月

浦のさき

心さるうらは晴つさそ友儂  
暮し言はれ浪塵のう浪

野雪

空さむし降まらるる白雪此  
つそりははるら冬の花雪

友子さき

風さ我ふさきも淋しき夕暮に  
友ははきてそさる鳴なり

右田骨詠しはるは出字し 東武

左田内中と源資おとよみ上、  
まゝい家老より意奇一そ、おれを  
れいゝ意いなるもはづし 為花は  
中上から城さう海しんそ命親  
おちそ又背ふおれ所をうりお  
入月のおち成るしよおる

玉汗の冷の光、城さき  
しそはるうり冬の花の月



玉汗の汗の光り輝き  
—とにふり冬の夜の月

田舎小松麦折ら書字—

石籠

右石籠の雪中庵の連中

み成し

右田舎中と殿候遠妙柳川  
何迷う村る性熱を又辨

石川為成

南志九

右小松をみ成の比候至家年を

口せ家廿山木のつ人しと奇は

世ふ仁をこ風と秋の月を教

し和夫よりして不思議小奇を

祿一跡跡大人不増り奇あは

よこ書してかりしも書さるる

るひまきしじ老のやまのん五世

讀んで取らや智美人よ長命

追ふ事長少流ひ書画詠奇た

上達して奇い家中と並なく

依り口せ家廿山家の山の人

こそあはすめ山流を只定家の

詠奇を感し熱い御子のけ友

冷泉のれい入りて又石籠

上京ありし奇い出別



冷泉の如く水に入るとして又石蓮  
上京ありて其の如く剛の目  
海よみ奇の如く其の上の如く  
此点の如く冷泉の如く其の子  
の内七井も孝子人た小童を  
振る虫襖ふと望をあたさきし  
嗚呼ありて守侍た志ます

為龍事  
言教

夕石 書画後

海濱には翅を飛ばして丁かひの  
かき田の如く秋の夕の如く

衣の森 口

石の如く前をたかて秋の如く  
月ふとふに衣の森

衣の上 口

是の如く衣をまきひて衣を  
衣ふとせの如く衣をまき

衣の森 口

嵐吹音の如く衣の如く  
衣入ふ衣を衣ふ散らり

里掛衣 経舟



里橋衣 経舟

西海をいひしやれをきき思ふの  
初年との本よ衣うなる

古き年あつては成程おひい

年毎ふりやうあふれの子あ  
ふりあうてはるの世おはして

とまらざるく

方救

ふ代かけてはつとあてたの子ね  
ふりとせ何あふれのまのま

かき存

年と強はまゝおこる人  
ふりおきたりあつ別強

ちもきふの血縁救ふはれい

方救

年と強はまゝおこる人  
いつれのおきふ神を志あ



年を治民又を治人  
治民治人治世  
治世治世治世



Handwritten text at the top edge of the page, partially cut off.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the upper right section.

Handwritten text in the center of the page.

Handwritten text in the lower left section.





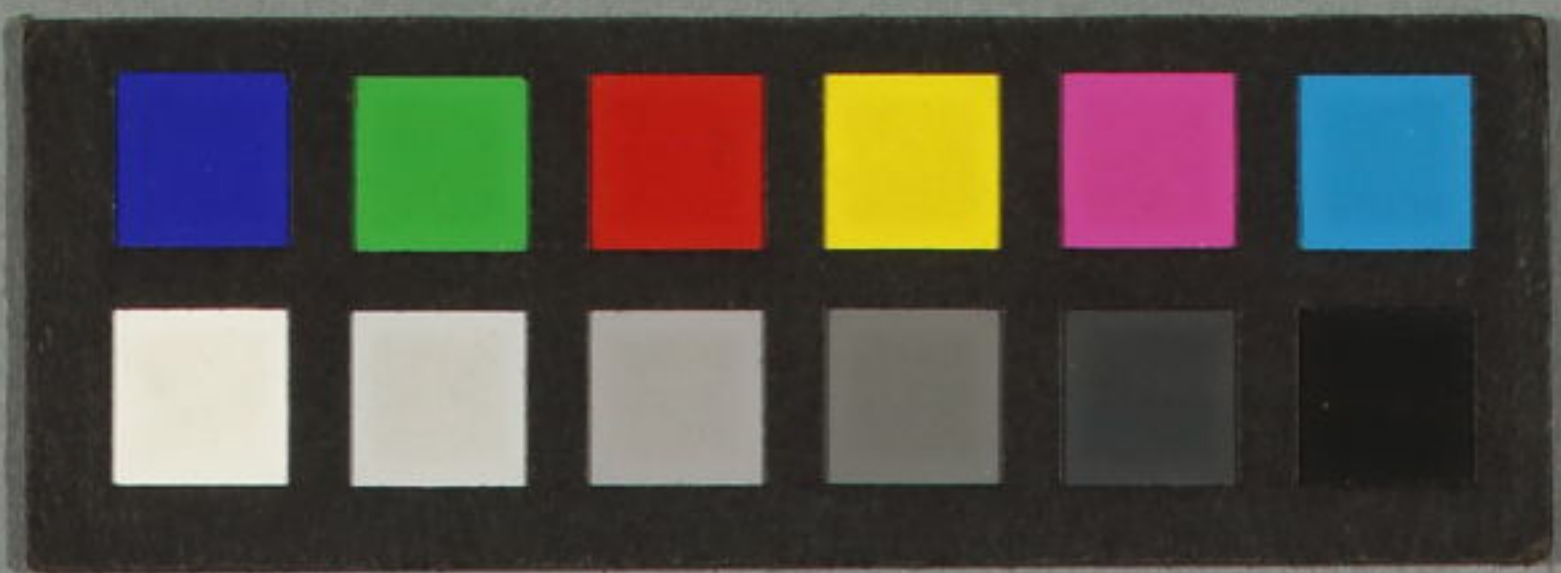


小童和歌之從來寫

服部文庫  
イ 17  
2378







小童和秋、  
從來寫



117  
2118





小童和歌之從來寫

服部文庫

イ 17

2378